

## 福島第一原子力発電所 土壤中のPu測定結果

## 1.測定結果

(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239,Pu-240
グラウンド(西北西約500m)	5月2日	$(5.2 \pm 0.83) \times 10^{-2}$	$(3.3 \pm 0.64) \times 10^{-2}$
野島の森(西約500m)	日本分析 センター	N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		N.D.	N.D.
グラウンド(西北西約500m)	5月5日 JAEA	$(4.1 \pm 0.41) \times 10^{-1}$	$(1.5 \pm 0.23) \times 10^{-1}$
野島の森(西約500m)		N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(1.5 \pm 0.25) \times 10^{-1}$	$(1.0 \pm 0.20) \times 10^{-1}$
国内の土壤		N.D. ~ $1.5 \times 10^{-1}$	N.D. ~ 4.5

：文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年～平成20年

## 2.評価

5月2日ならびに5月5日に検出されたPu-238とPu-239、240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、グラウンドならびに産廃処分場においては、3/21以降にサンプリングした試料からPu-238およびPu-239、Pu-240が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以上